

ESG情報開示研究会の概要（一般会員入会ご希望者向け）

■ 私たちの考え



Vision

私たちは社会の持続的な発展と、企業が自らの価値を高め成長することを調和させる仕組みを創造します。



Mission

- 効果的で効率的なESG情報開示のフレームワークの探究
- 実践例（実証）の蓄積
- より良い意思決定に向けたステークホルダー間の相互理解の促進



Values

- パートナーシップによって個では解決できない課題の解決に挑む。
- お互いに敬意を払い、多様性を尊重する。
- 長期的かつ幅広い戦略的視点を持つ。

■ 実施要領

期間：2020年7月～2022年7月頃（第1期）

場所：東京近郊 *現在リモート会議（ZOOM）で開催

内容：より良いESG情報開示の在り方に関する調査研究と情報発信

■ 一般会員

	内容
主な入会のメリット	<ul style="list-style-type: none">• 会員限定の催事への参加• 会員限定資料へのアクセス
会費	<ul style="list-style-type: none">• 入会金：無• 年会費：6万円（入会期間7月～6月：1年更新）
入会条件	<ul style="list-style-type: none">• 以下①～③のいずれかに該当する法人であること。①上場企業(自社の情報開示に関わる部門)、②機関投資家、③ESG情報開示に関連する法人 (③の場合は、設立会員又は正会員1社からのご推薦が必要です。)• 会員規約に同意いただけること

■ これまでの会員限定の催事開催実績

	内容
勉強会（18回）	ESG情報開示の有識者による、先進事例や調査内容、最新情報等の共有
活動報告会（3回）	<ul style="list-style-type: none">• 当研究会による国内外発行体・機関投資家へのインタビュー結果、非財務情報開示に関わるグローバル動向の共有• ESGに関わる用語定義の共有• ESG情報開示に関わるフレームワークの体系化の検討結果の共有

■ 会員数 100法人（2021年10月末時点）

■ お問い合わせ先

一般社団法人ESG情報開示研究会 事務局







株式会社日立製作所 グローバル渉外統括本部内[担当：増田、廣田]

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 連絡先 info@edsg.org

■過去の勉強会テーマ（抜粋）

登壇	テーマ
<ul style="list-style-type: none"> 世界経済フォーラム Ernst & Young 	ステークホルダー資本主義の進捗を測定～持続可能な価値創造のための共通の指標と一貫した報告を目指して～
公認会計士協会	企業情報開示に関する有用性と信頼性の向上に向けた論点の検討～開示とガバナンスの連動による持続的価値創造サイクルの実現に向けて～
WICIジャパン	非財務情報開示をめぐる欧州等の動き
<ul style="list-style-type: none"> 経済産業省 環境省 金融庁 	経済産業省より「サステナブルな企業価値創造に向けた経営と対話について」 環境省より「2050年カーボンニュートラルとESG金融の今後について」 金融庁より「ESG 情報開示を巡る金融庁の取組」
内閣府	企業の競争力強化に向けた知財等無形資産の投資・活用促進
在欧日系ビジネス協議会	EUサステナビリティ政策関連動向
BNPパリバアセットマネジメント	欧州サステナブル経済への道～最新の欧州動向と当社のサステナブル投資戦略～
りそなアセットマネジメント	ESG投資の潮流ー長期投資家からみた期待と課題ー
外国法共同事業法律事務所 リンクレータース	気候変動・ESGに関連する欧州等での最近の裁判および株主の積極的な行動の影響について
日本IR協議会	ESGに関するIR活動の進展～コーポレートガバナンス・コード再改訂を背景に
京都大学経営管理大学院	ESGPとCFP (ESG PerformanceとCorporate Financial Performance)

■参加企業の声

<p>ESGの第一線にいらっしゃる方々のご意見を伺うことができ、ESG情報開示の<u>トレンドを把握できる</u></p>  <p>ー製造業ー</p>	<p>機関投資家・運用会社と1 on 1ミーティングを通じて接点が深まり<u>実務に即した対話</u>ができた</p>  <p>ー建設業ー</p>	<p>様々な業種の実務担当者をはじめ、投資家、有識者の方々との<u>意見交換、情報収集</u>を行うことができる</p>  <p>ー情報通信サービスー</p>
<p>勉強会のテーマが毎回ちょうど気になっていることで、スピーカーも<u>プロフェッショナルで説明がわかりやすい</u></p>  <p>ー製造業ー</p>	<p>業種や立場(事業会社/投資家)の違う参加者の皆様と意見交換することができ、<u>自社の取り組み推進に活用できる</u></p>  <p>ー金融ー</p>	<p>既に開示改善意欲の高い企業様が、更なる改善に向けた議論を行うことで、<u>日本企業全体の開示底上げに繋がっている</u></p>  <p>ー運用機関ー</p>